



あさがお

荒井真紀作 金の星社

あさがおの たねを まいてみましょう。 つちのなかのたねは、みずを すって めを さまします。 ほら、ふたばがかわを やぶって でてきました。 たいようの ひかりを いっぱい あびて、あさがおは どんどん せいちょうします。よが あけて、そらが あかるくなるころ、つばみが ぼける ようには なが さきます。 でも、ひるには しぼんで、もう さくことは ありません。 しぼんだ はなは どうなるのでしょうか？

細かいところまで美しく丁寧に、あさがおの一生が描かれています。

